

「イエス様の素晴らしい愛」 I コリント 13 : 4-5

I イエス様の素晴らしい愛

I コリント 13 章の愛の原語は、アガペーです。これは、人間の持つ愛ではなく、神の愛、神が私達の心に与えて下さる愛を示します。本日の愛の箇所は、私達の救い主となる為に、神であられるのに人となられたイエス様のお名前を入れるとぴったりとします。つまりイエス様が、私達を愛されている愛が、どのような愛かが分かるのです。では、その素晴らしく深い愛を味わいましょう！

1. 「愛（イエス様）は寛容であり」：4。イエス様は、寛容な愛で私達を愛して下さいます。「寛容」の原語は、「気が長い、長く苦しむ」という意味があります。つまり、イエス様は、欠点の多い私達に対して、短気でなく、気が長く、忍耐深く、私達が長く苦しむ時も私達を見捨てず、私達と共に苦しみ、重荷を負って下さる方です。イエス様は、広い心で、ありのままの私達を受け入れて下さり、「あなたとは、これ以上関われないと」言われず、ご自分から関係を断ち切る事をされず私達を愛し続けて下さるのです。※私達の愛は、長く続かず、短気になり、関係を絶ち易いのですが、イエス様は、寛容な方です。イエス様の愛に憩いましょう。
2. 「愛（イエス様）は親切です」：4。「親切」の原語は、「親切、いつくしみ深い、慈悲、慈愛、憐み深い」の意味があります。有名な讃美歌「いつくしみ深き、友なるイエスは」は、この御言葉にピッタリの素晴らしい賛美歌です。イエス様は、欠点の多い私達に、親切で、いつくしみ深いお方です。イエス様の愛は、優しく、暖かい愛です。
3. 「愛（イエス様）は人をねたみません」：4。イエス様は、人をねたみません。なぜなら、自分の出来栄に左右されない父なる神の愛に満たされているからです。私達は、人と比べ、自分より恵まれている人、優れている人をねたむ弱さを、皆、持っています。しかし、そんな私達も、良くできた時も、良くできなかった時も、若い時も老いた時も、変わらず愛して下さいるイエス様の愛をいただき続ける時、人をねたむ事から解放されて行きます。イエス様は、私達の地位や能力よりも、私たち自身の存在そのものを心から愛して下さいるのです。
4. 「愛（イエス様）は自慢せず、高慢になりません」：4。イエス様は、多くの奇蹟を行われましたが、イエス様は、それらを自慢したり、高慢になられませんでした。イエス様は、こう言われました。「子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事を行うことができません。…わたしは、自分からは何事を行うことができません。…わたしは自分の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めるからです」（ヨハネ 5 : 19、30）。私達も、イエス様の愛に満たされる時、自慢する事や高慢になる事から守られます。なぜなら、かりに、何かをやり遂げることが出来た時、それは、自分の力ではなく、神が与えられた力、命、体、能力のおかげであり、また、神が自分を支える為に周りに置かれた多くの人々の支え、祈りのおかげだと深く自覚するからです。何かが出来た時、神と人々に心から感謝する人は幸いです。今日、生かされていること自体を当たり前的事ではなく、感謝する人は幸いです。
5. 愛（イエス様）は「礼儀に反することをせず」：5。イエス様は、礼儀に反する事をされません。イエス様の愛を受けて、礼儀に反する事、失礼な事をしない人は幸いです。
6. 愛（イエス様）は「自分の利益を求めず」：5。イエス様は、ご自分の利益を求めず、罪人の私達の利益（救い）を求め、最高に快適な天の位、住まいを捨て、神であられるのに人となられ、ク

クリスマスに赤ちゃんにまでなられ、33歳まで神と人に仕えられ、33歳の時、何一つ悪い事はされていなのに、私達の罪（殺人、強盗だけでない、私達の心の罪、憎しみ、恨み、ねたみ、見下げの心、悪口、陰口、嘘、偽り、ごまかし、不正等）の贖い（イエス様の十字架の血＝命という代価を支払って、永遠の滅び、第Ⅱの死から買い戻された、救い出された）の為に、想像を絶する苦しみを十字架で受けられ、罪のない聖い血を十字架で注ぎ流し、私達の罪を償って下さったのです。心から感謝します。

7. 愛（イエス様は）は「怒らず」：5。この原語は、ナイフの刃先から出た動詞で、敏感に反応する事、すぐ報復するいらだちを表します。イエス様は、すぐにいらだち、せっかちな報復をされません。私達がイエス様の愛に満たされる時、すぐにかっと怒ることをせず、祈りつつ、落ち着いた対応ができるようにイエス様は、助けてくださいます。

8. 愛（イエス様）は「人のした悪を思わず」：5。「思わず」の原語には、「数える、勘定する」という意味があります。私達に愛がない時、私達は、人のした悪を赦さず、数え、勘定し、心のメモ帳に記し、根に持つのです。何時までも赦さないのです。しかしイエス様は、私達が、自分の罪、過ちを、正直に告白しお詫びするなら、完全に赦して下さい、二度とその事を持ち出して責めたりなさいません。私達も、イエス様の愛を受ける時、人を赦す人に変えられ続けます。

Ⅱ 私達が、この素晴らしい愛に満ちたイエス様を心に迎え入れ、日々、イエス様と交わり、イエス様がおられる教会で互いに交わり、イエス様の御言葉（聖書）で心が養われるなら、私達も愛の人に変えられ続けるのです。イエス様によって希望を持って歩みましょう。

※教会福音讃美歌 432

1. 慈しみ深き友なるイエスは、罪、咎、憂いを取り去りたもう。
心の嘆きを包まず述べて、などかは下ろさぬ、負える重荷を。
2. 慈しみ深き友なるイエスは、我らの弱きを知りて憐れむ。
悩み悲しみに沈める時も、祈りに応えて、慰めたまわん。
3. 慈しみ深き友なるイエスは、変わらぬ愛もて、導きたもう。
世の友我らを捨て去る時も、祈りに応えて、労り（いたわり）たまわん。